

# 『江戸図屏風』のX線透過像について

永嶋正春

はじめに

- 一 江戸図屏風のX線透過検査
- 二 X線透過像から何が得られたか  
おわりに

## 論文要旨

国立歴史民俗博物館の所蔵する江戸図屏風は、絵画資料あるいは歴史資料としてよく知られている。その画面に描かれている年代すなわち景観年代は、寛永期のものであり、徳川三代將軍家光の事績を描いたものと理解されている。しかしながら、これが制作された年代については必ずしも確定されてはおらず、同時期とするもの他、後世に下げて考える意見もある。これは類似の絵画作品が乏しいこと、文献記録などで捉えられないこと、制作や伝来の経緯がはっ

きりしていないことなどに起因している。ここでは、江戸図屏風をその資料と捉えなおし、そのX線透過像によって検出されるさまざまな情報、例えば絵画材料や描法、屏風の構造、修理履歴、文字の書き付け、印影像などを客観的に呈示するよう務めた。これにより、江戸図屏風についての一層の理解と議論の進展とがなされるものと考える。なお本例のような大画面のX線透過検査に参考となるよう、その調査方法も合わせて示すこととした。